

# 龍王山 (りゅうおうざん)

福岡県 飯塚市 2024年 1月14日

## 飯塚市民に愛される眺望抜群の山



気温15°Cでポカポカ無風、1月とは思えない陽気でした。

### 本日のコース <全行程 3時間32分>

龍王山コース登山口(路肩に駐車) 10:03 → 林道(横断) 10:20 →  
龍王神社への分岐 11:06 → 龍王山山頂 11:14 <昼食休憩> 12:24 →  
<急坂を下る> → 牛舎(登山口) 12:55 → 八木山畜産センター 13:00 →  
車道歩きで周回 → 千人塚 13:22 → 八木山花公園図看板通過 13:27 →  
龍王山コース登山口 13:35

今年は辰年。初登山は干支に因んで飯塚市の龍王山に挑戦した。当日は1月とは思えないお天気に恵まれて快適な山行きとなったが、本当にこのまま暖冬が続いてよいのだろうかと一抹の不安がよぎる。やはり冬は冬らしい方がいいような…。山頂に到着したのはお昼前、30人程の登山者がランチタイムで賑わっていた。眺望は良く、目の前の三郡山～若杉山の稜線は勿論のこと、遙か耳納連山の山並みも見えていた。

今回のコースは、青年の家のある「竜王山コース」から取りつき、山頂からは畜産センターへ下って、そこから車道歩きでスタート地点まで周回することにした。



登山口を探しながら車を走らせると、登山口付近に数台の車が路肩駐車していた。

我々も同様に駐車して登山口へ向かった。 10:03

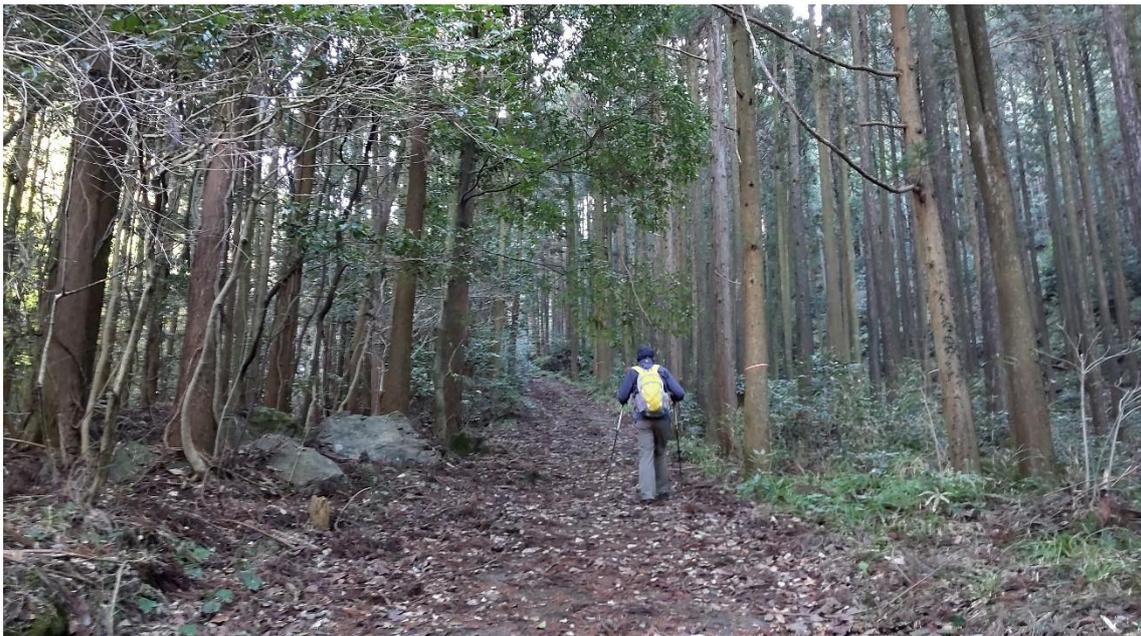
登山口は道路の中央線分離ポールがある付近(右側)となる。



龍王山コース登山口 10:04 左の足元の標識を確認して森の中へ！



龍王山コース標識 10:04



植林帯の中を歩く 10:05



道は明確だが、時折出会う道標を見ると心強い 10:06  
「木材搬出中」の黄色いのぼりが目立っていた



静かな森の中を歩いて行く 10:10



コースが若干分かりづらい場所にも「矢印プレート」があって有難い  
とても親切な表示で安心して進むことが出来る



ここは木の根が蔓延るルート 10:15  
木や岩にも赤いペンキで進む方向が示されている



林道に飛び出した 10:20  
さてここからはどう進む？林道を歩くのか？  
辺りを見回すと・・・正面に登山道を発見！



林道を横断して登山道を進む 10:21



急勾配の登山道から平坦な道になった 10:42



登山口のスタート地点からこの種の道標が所々にあるが、かなり古くて役割を果たしていない  
そろそろ新しい道標に…とってしまうのは私だけだろうか？



龍王神社への分岐 11:06

ここはT字路になっていて、左に進むと龍王神社。右に進むと龍王山山頂へと続く。  
龍王神社は雨乞いの神様とのことだったが、我々は龍王神社をパスして山頂へ進む。



倒木を跨ぎ、山頂へ 11:09



とても広い快適な尾根道 11:12



山頂広場に到着 11:14  
お天気が良くて山頂は無風でポカポカ陽気



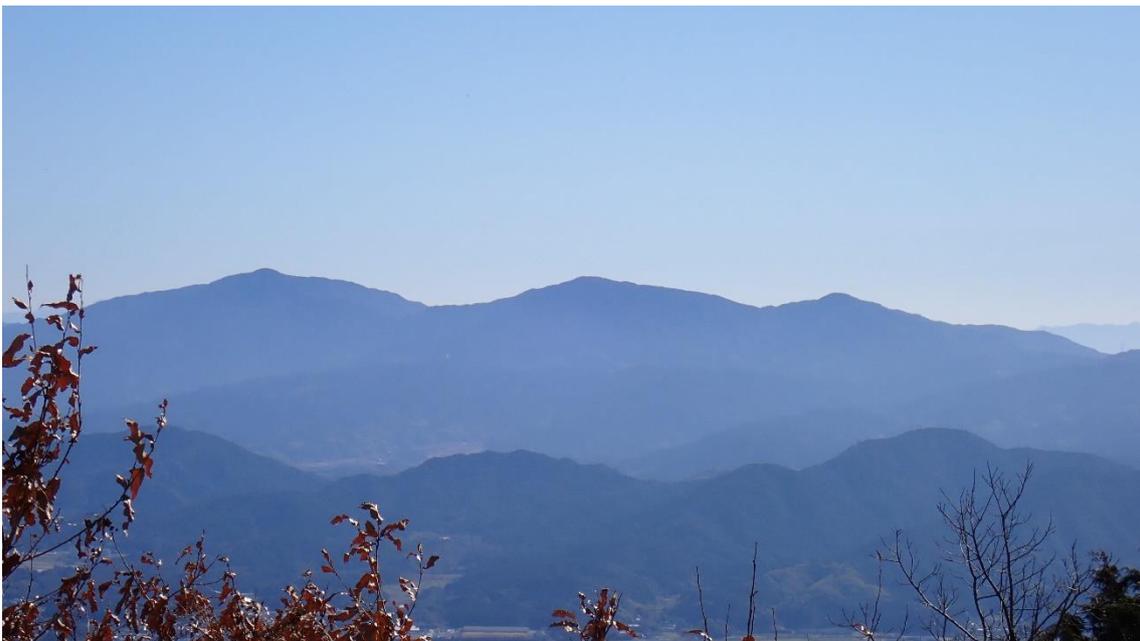
龍王山山頂 615m 11:15 山頂で記念ツーショット  
登山者が多く、山頂碑前での記念撮影は順番待ち  
山頂広場で昼食休憩中にも続々と登山者が上ってきた(驚)



山頂から三郡山を望む  
「今では三郡縦走も無理かな～」



若杉山



馬見山～屏山～古処山の稜線



鷹ノ巣山と英彦山



龍王山展望案内図  
(飯塚登山愛好会が1997年10月に設置)



山頂からの景色を堪能、昼食休憩を終えて下山に取り掛かる 12:24



広くて明るい登山道だが・・・ 12:35 急坂なので気が抜けない  
ふかふかの落ち葉で滑り易いので注意！



急坂下りは約30分続いた 12:51  
牛の臭いが漂ってきた



牛舎 13:00



牛舎の脇の道が登山道 12:55

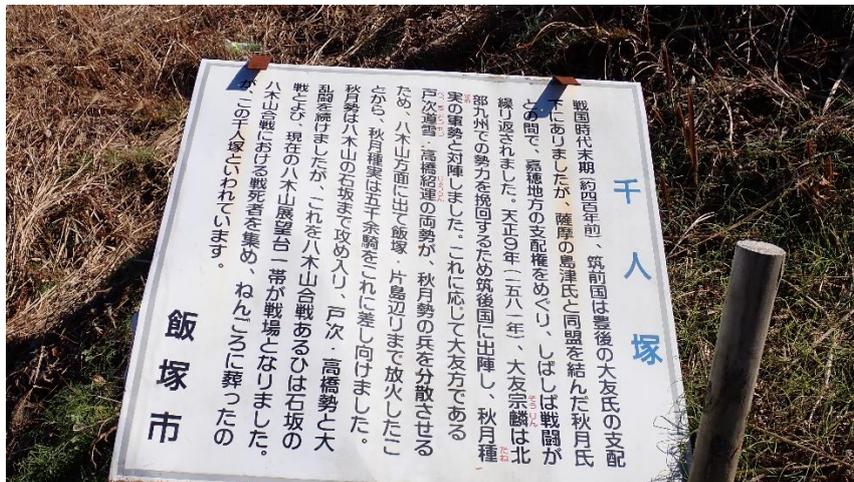


八木山畜産センター 13:00

ここからスタート地点まで車道歩きとなる



千人塚 13:22



<千人塚>

戦国時代末期(約400年前)、筑前国は豊後の大友氏の支配下にはありましたが、薩摩の島津氏と同盟を結んだ秋月氏との間で、嘉穂地方の支配権をめぐり、しばしば戦闘が繰り返されました。天正9年(1581年)、大友宗麟は北部九州での勢力を挽回するため筑後国に出陣し、秋月種実の軍勢と対陣しました。これに応じて大友方である戸次道雪・高橋紹運の両勢が、秋月勢の兵を分散させるため、八木山方面に出て飯塚・片島辺りまで放火したことから、秋月種実は5千余騎をこれに差し向けてました。秋月勢は八木山の石坂まで攻め入り、戸次・高橋勢と大乱闘を続けましたが、これを八木山合戦あるいは石坂の戦と呼び、現在の八木山展望台一帯が戦場となりました。八木山合戦における戦死者を集め、ねんごろに葬ったのが、この千人塚といわれています。

飯塚市



八木山花公園図看板 13:27 閲覧して通過

### <八木山を再発見>

八木山川に沿って「益軒桜街道」があり、桜の名所となっている様子。柳原白蓮の歌碑や貝原益軒の学習の碑などが点在する。シャクナゲやモミジの綺麗な場所もあるようだ。

### <八木山ゆかりの人物>

- 貝原益軒  
江戸時代 養生訓 筑前風土記を書いた学者。  
幼少期八木山で過ごす。
- 菅原道真  
八木山の道路に天神様の道標が何本か見ついている。  
大宰府に八木山を通過して行ったと伝えられている。
- 柳原白蓮  
「山清水 流れて清き八木山の 峠をこえて福岡にゆく」他にも八木山を歌った短歌があり、白蓮の思いが伝わる。

<八木山花公園図より>



緩やかな上り勾配の車道を歩いて、スタート地点の登山道を目指す！ 13:34



龍王山コース登山口 13:35 ゴール

「八木山花公園図」看板から約8分でスタート地点の登山口に到着した。

3時間32分の山歩きが無事に終了。

スマホの歩数計は9853歩。T師匠お世話になりました。

お疲れさまでした。

## 帰路に寄り道



貝原益軒学習の碑



貝原益軒肖像(1700年頃)

貝原 益軒(かいばら えきけん)

1630年12月17日(寛永7年)―1714年(正徳4年)

江戸時代の本草学者(現代で言う薬学者)、儒学者。50年間に多くの著述を残し、経学、医学、民俗、歴史、地理、教育などの分野で先駆者的業績を挙げた。

『ウィキペディア (Wikipedia)』より